

稚内市子育て新聞 ぬくもり



第2号

稚内市子育て推進協議会
事務局：稚内市教育委員会
社会教育課（23-6520）

発行日
令和2年2月28日（金）



今年度の教育講演会では、俳優の宇梶剛志氏を講師に迎え、「転んだらどう起きる？～自分の人生の主演は自分～」をテーマに、話を聞かせていただくことができました。

ご自身の家庭環境・数々の失敗・怒りや苛立ち・あきらめない姿勢・物事への価値観・人間への熱い思い・人生観・・・波瀾万丈という言葉ではくれないほど、ご自身をさらけ出して話してくださる宇梶氏の言葉1つ1つに引き込まれ、笑いあり涙あり、そして感動ありのひとときでした。教育講演会・子育て講演会でありながら、人間としてどう生きるかという、「人生の講演会」でもありました。

この講演会に、850名もの方々が集っていただけたことにも大変感謝しています。今後とも、「学ぶ親」「学ぶPTA」「学ぶ地域」「学ぶ大人」でありたいですね。この教育講演会は毎年開催していますので、この輪をなおいっそう広げていきましょう。

550通以上寄せられた参加者のみなさんの感想から、ほんの一部ですが紹介します。

- ★人との出会いは大きな力になる時があるのだと感じました。いろんな出会いを大切にできる人でいたいと思いました。
- ★自分は、差別や嫌なことが少ない世の中に住んでいると思います。人間どんなことがあっても立ち上がれると思いました。すごいことをする人は、すごい覚悟があると思いました。
- ★いじめや、宇梶さんの過去の話を聞いて、「あきらめる」ということの重さなどがよくわかった。そして「いじめ」や「差別」。「今日より、明日の方が良い」など、一つ一つのワードがとても深く、日本の社会問題についてよく考えるいい機会になった。
- ★自分が本当に何をやりたいのか、どうなりたいのかを考え、自分に聞くことの大切さを感じました。また、自身の立場として、挫けてしまった子たちに手を差し伸べられるよう、今後も学んでいきたいと思います。
- ★わかりやすく面白い話し方で楽しく聞くことができました。時代は違えど、今も、辛く苦しい思いをしている子たちはたくさんいると思います。そういう子たちの支援を学校や町全体で行っていく必要があると感じました。
- ★宇梶さん、稚内まで来てくれてありがとうございます。「無関心、無知、無教養が、差別やいじめを引き起こす」という言葉が印象に残りました。
- ★「人はみんな、明日は良いことがあるといいと思っている」という当たり前のことをすっかり忘れていたので、すごく楽しかったし、勉強になりました。
- ★今まで知らなかったアイヌのことがわかりやすく話されて大変良かったです。人間の平等さを伝えていていると思います。とても感動でした。
- ★テレビで見てたら、すごく爽やかで笑顔がステキな優しい俳優さんのイメージでした。すごい苦労した人なんだなと、より一層魅力を感じました。
- ★今日は会えて本当に良かったです。宇梶さんは「努力・努力・努力・努力の結果が現在なんだ」と思いました。感動しました。来て良かったです。
- ★人間がどうしたら立ち直れるか、人を信じることから始まる当たり前のことが、なかなかできない社会。どうしたらいいか考えながら、そして、人に微笑みを与えられる生き方をしたいと思います。
- ★1人の人の気づき、1人1人自立するのには、いろいろな道が与えられると思いました。その度に自分を振り返り、心に問いかけることが大事と思いました。弱い心、暗い気持ちになっている人に、力になる言葉がかけられる地域人になりたいと思いました。
- ★辛い思いの末、よりよく生きようとする人。辛い思いの末、人を信頼できず、信頼できる者だけのためにパワーを使う人。何が分かれ目なのか？考えさせられました。
- ★「心が淋しくなった時に人は・・・」という言葉からも、人と人とのつながりが人を救うことを考えさせられました。熱い語り口の中にも、人に裏切られたこと、救われたことなど、様々なドラマを見せていただいたと思いました。

「子ども会議」の共同アピールより

令和元年度の「子ども会議」は、7月12日と11月29日の2回にわたり開催しました。市内の児童会・生徒会の代表が参加して、これからの児童会や生徒会の指針となる共同アピールをつくりました。各校の今後の活動に生きることを期待しています。

小学校アピール「みんなで楽しみながら交流し、高め合える活動をしよう」

【行動目標】

- 全校で取り組む「あいさつ運動」を大切にしよう！
- 自分たちでゲームやネットの時間を決め、学習や生活のリズムが崩れないようにしよう！
- 全校児童が仲良くなるための交流や遊びを、工夫して取り組もう！



中学校アピール「励まし合い、高め合える集団をめざした生徒会活動の充実」

【行動目標】

- 気持ちを込めたあたたかいあいさつで1日をスタートしよう！
- 自分たちでルールや決まりを定め、賢くネットやスマホに対応しよう！
- みんなが笑顔で元気になれる全校交流活動を実行しよう！



全市子育て運動交流研修会を行いました！

去る2月7日、稚内総合文化センターで令和元年度全市子育て運動交流研修会が開かれました。会場には、稚内の子育てにかかわる様々な団体から約60名の方が参加されました。

研修会では稚内7地区の代表者が各地区の連絡協議会・子育てネットワークの実践報告を行いました。その後「ネット・スマホ・ゲームの問題にどう対応すべきか。」「『稚内の子育て提言』の見直すべき内容について」グループ協議を行いました。

全体交流では、「ネット・スマホ・ゲームの問題」については、家庭での約束が必要であること、大人の学習が必要であること、「子育て提言」については、具体的な表現で示したほうが良いこと、できるだけ目に触れる機会を多くする努力が必要であることなどが交流され、有意義な時間を過ごしました。



地域で輝く子育て運動～今年度の各地区の活動より～

○南地区子育て連絡協議会

南地区子育て連絡協議会では、年に一度、地域ぐるみの子育ての大切さを確かめ合い、町内会育成部、小中地区PTA、町内担当教員が力を合わせ、地域の子どもたちに楽しい故郷の思い出を作ることを目的に、子育て平和夏祭りを開催しています。第32回を数える今年度は、7月13日（土）、南小グラウンドにて実施しました。19の町内会が出店を企画運営し、お店巡りをしながらはしゃいでいる姿、おいしいものを頬張るうれしそうな表情等、子どもたちや大人たちのたくさんの笑顔が見られ、地域の交流が深まりました。また、プログラムには各学校の発表として、「南中ソーラン」（南中）、「南風」（南小）、「港小ソーラン」（港小）の演舞もあり、大盛況の夏祭りとなりました。平成から令和にまたがる南地区の伝統をこれからも大切にしていきます。



○恵北・増幌地区子育て連絡協議会

恵北・増幌地区子育て連絡協議会では、年間2回の事業を行っています。第1回目は、7月21日（日）に実施した「ふれあいカーニバル」です。ふれあいカーニバルは、増幌小中学校の児童生徒が、普段お世話になっている地域の方々に楽しんでもらえる企画を考え当日の運営も含めて行っているものです。21名の子どもたちは、中学生をリーダーとする3つの縦割り班に分かれて出店と発表内容を考えました。当日は、魚釣り、くじ、的当て、人形すくいなどの楽しい出店と、クイズや楽器演奏などの発表があり、地域・保護者の皆さんと楽しいひと時を過ごしました。地域の方々に喜んでもらえるように、主体的に行動し、生き生きと活動する子どもたちの姿が見られ、これからも大切にしていきたい地域行事です。



○北地区子育て連絡協議会

北地区子育て連絡協議会では、市連P子育て委員会北ブロックとの共催で、10月4日に北地区子育て講演会を開催しました。稚内市役所環境エネルギー課長の市川正和様を講師としてお招きし、「子ども達の未来を守る『か・で・こ』～環境&電子機器&子育て～」と題して講演をいただきました。市川さんは南極越冬隊に参加した経験を持ち、その経験を交えてたくさんのお話をしてくださいました。地球は間違いなく変化をしているという現実を突きつけられ、自分にできること、みんなにできることなど、身近にできることを考えさせられました。豊かな自然や地球を守ることが子ども達の未来を守ることに繋がります。多くの参加者からも「素晴らしいお話でした。」と、とても評判が良かったです。これからも北地区が一体となって子育て運動を展開していきます。



○宗谷地区子育て連絡協議会

宗谷地区子育て連絡協議会の取り組みを紹介します。年度当初に宗谷子育てカレンダーを作成・配布します。これは、宗谷沿岸各小中学校の行事が一目でわかるもので、地域でも広く活用されています。また、大きな取り組みとしてふるさと街づくり標語の募集と審査、子育てカルタ大会を開催しています。児童生徒はもちろん、保護者の方も参加しての伝統的な行事です。宗谷地区子育て講演会は、今年度趣向を大きく変えて「今の食生活が将来を決める!？」のテーマのもと管理栄養士の方を講師にお招きし、調理をしながら学習する内容となっております。以上の取り組みは、事務局が年3回発行する「子育て新聞」に掲載し、地区全戸に配布・活動報告しています。



○天北地区子育てネットワーク

天北地区子育てネットワークでは、11月29日に、稚内市立稚内東小学校の高田和也先生を講師に招いて、「ネット・ゲームとどう向き合うべきか?」をテーマに研修会を行いました。保護者・地域の方々、先生方が参加し、ネットスマホ・ゲーム等の現状や危険性・正しい対応の仕方などを学び合うことができました。最後にグループでの感想交流も行い、「子どもたちを取り巻く状況は、時々刻々変化していくのだろうと思う。だからこそ、我々も常にアンテナを高くしておかなければならないと感じた。」「時間の使い方、人との関わり方といった視点で考えると、どのような対応をすればいいのか見えてくる気がしました。」などの感想が出されていました。たいへん有意義な研修会となりました。



○東地区子育て連絡協議会

東地区子育て連絡協議会は、東小・声問小・東中の3校とPTA、町内会、地域が協力して活動をしています。今年度で第30回目を迎えた「東地区親子ふれあいサマーフェスティバル」は、夏らしい爽やかな晴天の下での開催となりました。声問小による「よっちょれ」、東小6年による「継海」、東中吹奏楽部による演奏や、7町内会と3校PTAによる出店、東小遊びの広場、東中フリーマーケットが開かれ、たくさんの地域の方で賑わいました。また、子育てを学び合う場としては、2月に東3校の子どもたちの実態を交流し、さらに東小学校の高田先生を提言者として話題提供をしてもらいながら、「稚内の子育て提言」について語り合う機会を設ける予定です。



○潮見が丘地区子育て連絡協議会

今年度の潮見が丘地区子育て連絡協議会の総会において、「潮見子育て提言」を掲載している独自のポスターを、リニューアルすることにしました。提言以外に、潮見が丘地区にある富岡こども園・潮見が丘小学校・潮見が丘中学校・稚内大谷高校・稚内北星学園大学の大きな行事がわかるようポスターに掲載し、関係各所に配布・掲示していただきました。

さらに、小・中学校の様子を地域の方にも知ってもらおうと、町内会の協力を得て回覧板と一緒に学校便りを回覧することになりました。地域からは、「行事の情報がわかって良かった」、「学校の様子がわかるようになった」という声をいただきました。次年度も継続して、地域との連携を図っていきます。

